八代集抄

新古今表傳

四十文

特別
イ 4
3163
104(45)

貴
14
3163
104(45)

宮内省圖書寮

すゑの露もしらぬ野辺の草
野辺の露をよめりとも
なほ乃露とは
乃露とは
の露とは
まことにいつまでかきえ
あるものを人乃命を
しらぬ
ゆくへもしらぬ身乃
あさましきかは紅葉とて
露のうつる間もなし
野への露はけぬれども
とよめるに同じ意
乃果は野への草と

新古今和歌集巻第八

春傷寄

鶯のこゑ　信正遍昭

すゑの露もしらぬ世乃中に
をとれさきそめるあやめ草かな

小野小町

ゆくへもしられぬ身乃なりてやはさくらも
はかなしとは野へ乃わかれとなりぬ

延長八年九月廿九日崩葬醍醐山陵

醍醐乃御ときはかれぬるかくれ
の花ともわかれぬるかな

續庫

中納言兼輔

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六条摂政　基実公
法性寺入道前関白太政大臣
仁安元年七月廿六日薨
廿七歳

かくとだに
白雪ぬき牡丹に形見とて
これは歌まの侍りける
とく中くの侍りける牡丹まり

太宰大弐重家卿

桜さかりに
花ゆゑ
おなじ
おなじ
おなじ

後よりのちの世にはいかなる
社よりわれるとうてう
あやめ草ひきてふるる
ひきてふるる後とて
世を宮ゆえ尼衣のた
ぶのゆかりにてあ
おろかなりとはいへ
懐旧のわたりとく
ものかなしうて

近衛院かくれのち五月五日皇太后宮
なくなられる九条院（藤原呈子 近衛院中宮忠通公女 実九条相国伊通公女）

皇太后宮
皇太后宮（聖子 忠通公女 崇徳院中宮）

近衛院の九条院と
皇太后宮の御
母なれはかりぬはをか
くて諸国に
遊せられ
ぬはをか
くて
すこし
なる女
なるの
なる
蓮花心院
藤原雅平
藤原為経朝臣書
なわ
なる

やうにおもひ
給ふ
小野宮大臣（実資公 清慎公子）
よりうけとる
書
よりうけとる
書
よりうけとる
書

[illegible]

和泉式部

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上東門院

[illegible]

白河院御時中宮おはしまさて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

宮とゆ[illegible]

一条院御宇

秋くれば乃露はやとわは[illegible]

ちはをいてゝ[illegible]

秋乃はぎおさるまき子[illegible]

[illegible]

大弐三位

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

法一伝法師子
兼實公の方忠通公
兼實等母顕房公女
宇治より 兼實公を
呉ス後宇治へ道 藤原氏三流り

神ぬしとし萩乃上露
霜しもとこ霜結
ちの空 霜はらわとは
方の花ちる[illegible]ね
ちるねと出よ秋て心
萩乃露を風ちる
てくよちる

法一伝法師子かくれ住く宇治
兼實公宇治伝
[illegible]
[illegible]
彰子 小集 後朱雀安
[illegible]
兼實公

聖院 道 お関白大政大臣

神ぬしと萩乃上露
むしりわすれぬ雲乃わうする
法師ちるうりやうて住くて法滅
野は大納言 後徳の父 憲家ちる乃住くる
[illegible]
[illegible]

権中納言 後徳

[illegible]
又霜乃花ちる[illegible]
[illegible]
[illegible]

いまはとてはかうき世のさうれのへとろ
露きえてあとゝ志のこめ
母身まうわるゝる秋のうき志
ゝる日ゝとすみ結ゝるあうり
まうわて　萩原宣家朝臣
ゝゆゝ乃露も涙とこゝまゝす
あさ人こゝるやこのあきうせ
ゝと恨ゝるあうのまうわてとゝ古ゝ有母秋風涙とわて母のあゝ
はさゝ秋風涙と古人いひさゝゝゝいゝんやちくうわゝ
萩乃秋ゝ世ゝゝとゝひのゝゝゝゝ愚案こまゝやちゝ
神ゝきわゝゝあれわゝ愚案故卿有母新撰朗詠為憲

白屯山延寛と伊勢八ゝゝ秋の盛屋ゝゝきゝいんや為母乃
陸奥ひの陸ゝ秋風乃き野ゝの風のゝゝ露風志ゝもゝやゝすとゝの
玉ゆゝ志ゝりとゝゝゝと八年陸物ゝ乃ゝ山奇往詩のゝすゝ乃ゝゝ得るま
ゝゝれとゝゝゝゝ乃ゝゝ野ゝ乃ゝ宣拾ゝき風ゝゝ
露と示今ゝゝゝれ
野ゝ乃ゝ萩表二拾ゝ
一ゝ服表一ゝ山藏ゝゝの
廣物ゝる表ゝ山ゝ
服表ゝ今ゝゝゝ人の乃
ゝゝ風の露と袖ゝ
ゝゝと乃ゝゝゝゝ
ゝ世ゝ曲ゝゝとゝゝゝ
久我内大臣　雅通公兼安
五年二月廿七日薨年
土御門内大臣通親公又

河内ち
又秀宗為ゝゝわて乃秋表風懐而
とゝゝゝゝとゝ結ゝる
萩原秀結　蒙注名
表
露と示ゝゝゝゝゝ乃萩ゝゝも
乃ゝゝゝゝ袖を山ゝ乃ゝゝゝ那
久我内大臣春乃比ゝゝゝて結ゝる
年乃秋土御門内大臣中納ゝ結ゝる

秋のきねさめの
秋のよのくるまの
はいかいのもるまし
一きかすくちん
とこのやゝこゝろ
人を夢と語く
ねさめの乃あし
乃一夢とこゝろ時
そうもきの人の恋乃
いかとおもれし
こゝろもいうゝ出
ゝこゝ夢てけゝ
あれ秋のゆけ案
ゝ人ゝ別れ
ハ別ゝ

時ゝ乃ゝ殿冨門院大輔 千載 後鳥羽院

秋のきねさめのゝ
そうもくゝ
乃一
秋乃ねさめ
ゝゆめと
ゝこゝ
ゝ
ゝ

そらもせぬまでのうり
骨は土中ふ打てもを
名をうりてこそふとも
て柏野の花のうを
こそうりとこさそも
侵恕うとうし秋の
哥人見しね赤沼
の果を憎れて打う
不うりとい今て可味
ゆるさとをうる
うさうる同行のさ
まをとひやりて淡
名うり柏りの友うさ
山いあかりこ世の
友をうる同今何

そらもせぬまでのうり
かをのくすきうをうる
同行をあまる人うり法さつる
あくぶ感よくれいおりいてよ
そる　前大備正慈尋
山るさとをうる風やひとりゆく
ともあきやまれるをうれ露
世乃おりひうり法うる秋法傷ち不
こうりてはくのいくくしさ
れい　宮大夫宮大史後感

の世れ名を乃寿とこ
りゆらんとこ哀悲
うき世の今ひを
うき世は今いあくの
世界のゆひは山寺う
ゆりて世を抜んの思
と今ふ何くどうて
くて世と抜山居せんう
共今の山筋りや山原
別ゆくしめうんこ
れをうる花すり
れうきそきくく不
世うき抜凡を常よ
云世のゆうんいを
寿うき哀うを

うき世は今ハ何くく乃山風り
これやうれゆくそめるうん
定家朝臣毎月ありては秋法華
不近き堂まりてよ手法うる
れうりる実まも世うき松風を
くすやこみ乃きうきくらん
婚の院くき抜て法神安月風の
寿哀はきそうれを
久我大政大臣
世なりこうあき風ありうり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

乃神宮有 法常社 所あるを法
けうつ 作中を太上天皇
なりひ出る 初めて 宗乃乃ゑ
むせつ 乃 ゑ
こひ出る 初めて 宗と 作てゑ
ゑひ出て まぬ ゆゑ 乃ゑ

お大備正 慈悲

宗祇自撰 序 泣むせ
作製 宗祇 作製を喜
愚案 山
追悼 宗祇 追悼 宗祇
法 法 法 法
乃 法 慈悲 この 法 通 光の 妹 承明門院 名 詠 宮の 詠 名 口詠

ゑひ出る 初めて 宗 上句 作製 宗祇 自撰 序 泣むせ
作製 宗祇 作製を喜
愚案 山
追悼 宗祇 追悼 宗祇
法 法 法 法
乃 法 慈悲 この 法 通 光の 妹 承明門院 名 詠 宮の 詠 名 口詠

[illegible]

枇杷皇太后宮　斯子内親王

堂関白道長三条院
中宮五年九月崩
[illegible]

秋乃月とハ中宮を
[illegible]
乃お歌乃ゆの時
[illegible]
[illegible]

枇杷皇太后宮かくれ給ひてのち十月
[illegible]
[illegible]

相模

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

恒徳公[illegible]

月おもしろくてまゐりて

まゐらせる　菅原道信朝臣 恒徳公子

[illegible]

[illegible]

月[illegible]

入道摂政[illegible]

[illegible]

[illegible]

上東門院白川　婚

後一条院御腦のれと上東門院御宰うせのひく崩御のち

寛徳二年正月廿一日崩　後朱雀院　後朱雀院うれ　上東門院白川

後朱雀院梅壺女御　女御藤原生子　太政関白女

藤原生子　廿二歳　廿三寒ふ

うしとていかでかこの家をとてねられ

ぬるはとりわかつらん

後朱雀院崩御乃ち云女院

乃院おはい世をさ乃ち歌さ侍せうひくいとほの中求めさせうひて

白河殿よ南へせうひぬ京極殿をい一品宮うちへせうふ内大殿乃

生子　女院乃ひくわうせうひねるときうせうひてもうとていい出て

家をこうとていうちあのはとはとあのれしと京極乃白河

殿を出て白河殿よこうわうて二ていい世をうむきうりあうわうあい

ひくうきけうり父かて乃立てふ乃立てふ乃ひくうとうせ寄うやいたてとハ

父大二条殿の陸奥守乃生子　栄花物語世六云極壺乃生子　女院ハ独殿乃りふい

しまして内裏乃立て人よ多をうて独御る秋の夕暮とよくうて

ひかりひて内裏乃事ひく尼よりうせうひくいとふくをとりせ

うとうりう

そうるうとうて

おさおりりるるる乃多ひりう

内のみうるうと

らの世ふ子をうて

そうるうとうて内

のしひりれうやの平

く世をさうるうを和と

我子とし新うるとと

うるうとふゆく人乃ハ

心ハ内うるもうるね

海ハ死出山さ中宮長

暦三年九月八禁子内裏

うるうとうるいとうるもいとうるのみ

そうるうるこれ世をうのこうるう邪

ひくうるうるうるうるうるうるうるう

後一条院中宮匿れうるくのち

人乃多うり　中宮源子敦康親王女禁子内裏　親王号ハ内母

うるうるうるうるうるうるうるう

心ハ内うるもうるね

海ハ死出山さ中宮長

暦三年九月八禁子内裏

うるうるうるうるうるうるうるう

[illegible]を生ずるなり七日といふ中ごろ生ずるなり
と業色相法世四[illegible]

[illegible]のことのうちに
八十八業[illegible]八[illegible]業[illegible]
法世云云の文乃至大
取り世法[illegible]九十七
[illegible]長[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

小野宮右大臣別当のぬしとして
よめる　　実資公永祚元年閏十八日薨八十八

[illegible]大納言長家卿大宮ノ民部卿ト云フ

[illegible]乃[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

の給ひ上り給へ
いかきを思ふもつま
てらんとし

僧正明尊 元亨釋書曰 釋明尊武庫令野奉持之子道風之孫皇之曾孫也康平六年六月廿有卒九十三 中略

三井寺オイゾン

僧正明尊ひれくはなくて
唐のもしも宮をうわてく
菩提ひたけりてことを
なるとて

律師義運 日本紀略 浦沢養子

あき人乃ひとをふて
せめて宮き盛りは
世乃なるなき事と歌くはなの
名ある不くかきる給を
又作く

宗武

ほ人乃名ひとなるもの名ひ

むつまじきは歌の字
きこゝろ
ほと位 大勝寺 敦賀
は朱雀院御乳母

あくれき御ひるの乃
きこゝろは朱雀院
へるくしの心

安乳母 陽明門院乳母 湯殿門院 後朱雀院

名をもむつまじきは
後朱雀院ひれのひくのち
ほと位ゝ

安乳母

むつまじきは御ひるの
ほと位

おもひきみとし燈ゝ
きこゝろとれる
大江義弓對る

うへはね男と雷まうて
後朱雀院寛徳二年
正月ま崩る故す法
おわれ人々あいのうを
野列云大江為〔命〕
何ハ又ゆりえ法の法
乃跡法師の尼乃う
らんにとらてわる
う猶ゑうて男すれ
法ま法も倉れ法うと
ハ主ねねも尼ハ秋う
金て拾ゑ名う拾ま
法ま苦のうとう法也
しへ法ゆらく城る
中をくくて法うさ

あるて拾江乃尼のうとに法
て下ま法ゆる乃ま法みくらく城
よくを吹て猶周法師
おわれ人々乃いのちを主ゆませ
あるみを乃何うちきう法ゆ
法ま法ゆ法ゆ法ゆ法ゆ法ゆ
法ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

世中ハ[illegible]

[illegible]

人[illegible]

虚空乃煙[illegible]

[illegible]

[illegible]

人の[illegible]

いつあけきいけ[illegible]

誰も[illegible]常ハのれぬ

世[illegible]ハ[illegible]世ねて

[illegible]

[illegible]

世乃なかひ[illegible]

[illegible]る人乃[illegible]

[illegible]

[illegible]

前参議教長

権大納言忠教卿

刑部卿頼輔卿

議正三位法名覚蓮

おなじ道の野まこと[イ行]わけ
行くるうやましきまわよ成ぬと
きて病ふまわくるわ
身まわりぬときて行くる

寂蓮法師

行くれないなられと袖ぬん
行くあきやまれみねの白雲
人うとれくまけきくる人

あきかぜのふきみにと
思ひきくるく

法印定円

あきかぜのなまけものみ身ふうて
行くれとも思ふ
我心うつりゆくと
袖といわみくを
ふくいとひ
月れと思ふ
ゆかわて行も
しきよりも今ま
こいなりと思ふ

歌くる行くる人と子と恨行れ
行くれともこそろおふ引といわ
ふくれぬ(くいとこいうをせめ

左常乃宮を入道左大臣

行くくとおもくい出ていまてら
ひと乃ゆい出とようにゆき

右近中将通宗

墓所うまう

土御門内大臣通親卒
通光通具等方

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]